



毛呂山町マスコットキャラクター
もろれくん

議会だより

発行/毛呂山町議会
編集/毛呂山町議会だより編集委員会

MOROYAMA ASSEMBRY NEWS

もろやま

〒350-0493 埼玉県入間郡毛呂山町中央2丁目1番地 TEL 049-295-2112 URL <http://www.town.moroyama.saitama.jp/kakuka/gikai/>



3月の定例会

平成28年度一般会計予算	2～3P
平成28年度特別会計予算	4P
平成27年度補正予算	5P
条例の改正等、町道の認定・廃止	6～7P
議案の審議結果、討論	8～9P
傍聴案内、一般質問	10～15P
人事、議会の動き	16P

平成28年5月1日発行

第 92 号

92

議会だよりは議員の自主編集により発行し、この用紙は再生紙を使用しております。

一般会計予算

3月議会
定例会

101億4,800万円
(前年度2.1%増)

平成28年3月定例議会は、3月1日から3月22日まで、22日間の会期で開催されました。今議会の議案は、専決処分1件、新規条例1件、条例の一部改正12件、規約の変更1件、補正予算5件、当初予算6件、町道の認定・廃止各1件、人事1件、報告1件、合計30件が上程され慎重な審議が行われました。一般質問は10人の議員が登壇し活発な質問が展開されました。

過去最大規模予算100億円超え！

予算総額は歳入・歳出それぞれ101億4800万円、前年度の99億4300万円に比べプラス2.1%であり、額にして2億500万円の増額となりました。増額の主な理由は、毛呂山小学校体育館大規模改修事業や2期目の毛呂山中学校大規模改修事業として合計6億2436万円、扶助費全体で1億4223万円増加した事などが主な増額理由です。財源においては、町税が35億5840万円で、前年度比39.7万円、1.1%の増額、地方交付税が19億円で前年度比1億円、5.6%の増額となりましたが、自主財源の確保に厳しい本町においては、今後の動態を注視していくことが必要であります。
(賛成多数可決)

町民一人あたりに使われる予算額は？

約29万円です！

【平成28年度主要事業】

土木費

生活環境基盤(町道)の整備等

総額 7億8933万円

教育費

教育施設の整備・学校・社会教育の充実等

総額 15億2915万円

民生費

高齢者福祉の充実・児童福祉の充実等

総額 37億671万円

衛生費

保健予防の充実等

総額 7億6956万円

平成28年度

注目事業



毛呂山小学校体育館大規模改造事業(教育費) 1億6,560万円

※築後38年を経過し建物の老朽化が進み児童の安全を図るため、また災害時の避難所としての防災強化を高めるため。



中央陸橋長寿命化修繕工事(土木費) 3,763万円

※掛け替えなどの大規模改修工事を未然に防ぐためのメンテナンス工事。



山根荘本館大広間改修工事(民生費) 246万円

※畳の経年劣化に伴い、床をフローリングにし壁紙も張り替え改修するため。



第3子出産祝金(民生費) 500万円

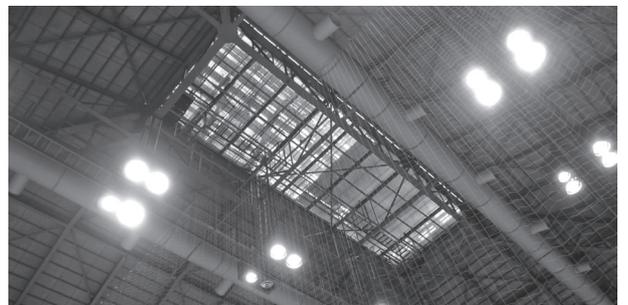
※28年4月以降に第3子以上のお子さんを出産した方に10万円の祝金を支給。



(写真はイメージ)

中学生自転車用ヘルメットの貸与(教育費) 257万円

※自転車での登下校、部活動などで生徒の安全を確保するため。



総合公園体育館トップライト改修工事(教育費) 885万円

※ガラス天井からの雨漏りが酷いため、既存ガラスを撤去しガルバリウム鋼板平葺屋根に改修するため。



第2期毛呂山中学校大規模改造事業(教育費) 4億5,876万円

※昨年度に引き続き、未改修部分の校舎大規模改造を行う。



不妊治療費助成金(衛生費) 250万円

※28年4月以降に県の支給決定を受けた方に対して、更に町が上乗せして不妊治療助成金を支給します。

平成
28年度

特別会計予算

国民健康保険特別会計

歳入歳出52億6,912万円（1.58%増）

国民健康保険は、被保険者の疾病、負傷、出産等に必要の保険給付を行い被保険者の健康を支えています。

◎主な歳入・歳出

○歳入

国民健康保険税	8億2,243万円
国庫支出金	10億 38万円
療養給付費等交付金	1億6,169万円
前期高齢者交付金	13億6,137万円
県支出金	2億9,459万円
共同事業交付金	12億1,570万円

○歳出

保険給付費	34億1,054万円
後期高齢者支援金等	5億6,283万円
介護納付金	2億 274万円
共同事業拠出金	10億1,336万円

(賛成多数可決)

介護保険特別会計

歳入歳出21億7,369万円（1.78%増）

介護保険は、要介護認定を受けた方に対して必要な保険給付を行うとともに、介護予防を推進するために運動教室などの地域支援事業を実施しています。

◎主な歳入・歳出

○歳入 支払基金交付金	5億8,355万円
保険料	5億1,810万円
○歳出 保険給付費	20億3,888万円
地域支援事業費	8,299万円

(賛成多数可決)

水道事業会計

収益的収入及び支出

収益的収入	7億9,713万円
収益的支出	7億4,785万円
損益勘定（純利益）	3,029万円

資本的収入及び支出

資本的収入	1億7,393万円
資本的支出	4億8,565万円

収入額が支出額に対して不足する額
3億1,172万円は補填財源をもって補填します。
(全員賛成可決)

後期高齢者医療特別会計

歳入歳出3億5,496万円（10.56%増）

埼玉県全市町村が加入している埼玉県高齢者医療広域連合と市町村が連携し事務を行っています。町では、受付窓口業務と後期高齢者医療保険料の徴収業務を担当しています。

◎主な歳入・歳出

○歳入 後期高齢者医療保険料	2億6,022万円
○歳出 後期高齢者医療広域連合納付金	3億3,649万円

(賛成多数可決)

農業集落排水事業特別会計

歳入歳出2,811万円（5.3%減）

農村地域における生活環境の整備と河川や用水路などの水環境の保全を目的とした事業。

◎主な歳入・歳出

○歳入	
一般会計繰入金	2,142万円
○歳出	
事業費（委託料等）	1,211万円

(全員賛成可決)

平成
27年度

補正予算

一般会計補正予算（第4号）

予算総額 106億7,998万円

歳入歳出 4億6,902万円減額

◇主な内容◇

自治体情報セキュリティ強化対策事業	1,837万円（繰越明許費）
個人番号カード関連事業	1,013万円（繰越明許費）
臨時福祉給付金事業	9,914万円（繰越明許費）
小学校トイレ改修事業	5,648万円（繰越明許費）

繰越明許費

財政法で認められている歳出予算の繰越制度。歳出予算のうち経費の性質上または予算成立後の事情によって年度内に支出が終らないと見込まれるものを、翌年度に繰越して支出できるようにする制度。

（賛成多数可決）

国民健康保険特別会計補正予算（第3号）

予算総額 52億8,719万円

歳入歳出 902万円減額

◇主な内容◇

療養給付費等の影響で国庫支出金及び療養給付費等交付金を減額

（賛成多数可決）

水道事業会計補正予算（第3号）

◇主な内容◇

収益的収入及び支出のうち支出は給料など人件費57万円の増額で支出合計は7億5,306万円となり損益勘定は3,611万円の純利益。資本的収入及び支出のうち、支出は手当等人件費11万円の増額。この補正により不足する額3億5,786万円は補填財源で補填。

（全員賛成可決）

介護保険特別会計補正予算（第3号）

予算総額 21億566万円

歳入歳出 9,633万円減額

◇主な内容◇

保険給付費の支払い見込み額を算定し、介護サービス等諸費等を減額

（賛成多数可決）

後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）

予算総額 3億2,886万円

歳入歳出 818万円増額

◇主な内容◇

埼玉県後期高齢者医療広域連合からの算定資料及び保険料等の見込み額を算定し、後期高齢者医療広域連合納付金を増額

（賛成多数可決）

条例の制定・改正など

条例の制定

議案第2号
（委員会付託）
毛呂山町まち・ひと・しごと創生
有識者会議条例

（全員賛成可決）

要旨 まち・ひと・しごと創生法

第10条第1項に規定する市長村ま
ち・ひと・しごと創生総合戦略に関
する事項について審議するため、毛
呂山町まち・ひと・しごと創生有識
者会議を設置するもの

条例の改正

議案第3号
毛呂山町議会の議員の議員報酬及
び費用弁償等に関する条例等の一
部を改正する条例

（賛成少数・否決）

要旨 毛呂山町特別職報酬等審議

会の答申及び人事院勧告に基づき、

特別職の期末手当を引き上げようと
するもの

議案第4号

行政不服審査法の施行に伴う関係
条例の整備に関する条例

（全員賛成可決）

要旨 行政不服審査法の改正に伴

い関係条例の整備その他所要の改正
を行うもの



第5次毛呂山町総合振興計画を策定

総合戦略：2015～2019年度の5か年

議案第5号

毛呂山町人事行政の運営等の状況
の公表に関する条例の一部を改正
する条例

（全員賛成可決）

要旨 地方公務員法及び行政不服

審査法の改正に伴い、所要の整備を
するもの

議案第6号

職員の勤務時間、休日及び休暇に
関する条例及び毛呂山町災害派遣
手当等の支給に関する条例の一部
を改正する条例

（全員賛成可決）

要旨 地方公務員法及び学校教育

法等の改正に伴い、所要の整備をす
るもの

議案第7号

議会の議員その他非常勤の職員の
公務災害補償等に関する条例の一
部を改正する条例

（全員賛成可決）

要旨 地方公務員災害補償法施行

令の一部改正に伴い、条例の一部を
改正する必要があるため

議案第8号

職員の給与に関する条例の一部を
改正する条例

（全員賛成可決）

要旨 平成27年埼玉県人事委員会

の勧告に基づいた毛呂山町職員の給
料及び勤務手当の改正、平成26年の
人事院勧告において勧告された通勤
手当の引き上げの改定をするもの

議案第9号

毛呂山町職員等の旅費に関する条
例及び証人等の実費弁償に関する
条例の一部を改正する条例

（全員賛成可決）

要旨 職員の給料について7級制

を導入したこと及び行政不服審査法
の改正に伴い、所要の整備をするも
の

議案第10号

企業職員の給与の種類及び基準に
関する条例の一部を改正する条例

（全員賛成可決）

要旨 企業職員の給与の種類及び

基準について、町の制度に準じて条
例を改正する必要があるため

議案第11号

毛呂山町公民館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例
(賛成多数可決)

要旨

公民館を目的外に使用する場合の使用料変更と、貸出用備品の一部の削除及び新設をするために、毛呂山町公民館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する必要があるため



中央公民館

使用料の一部が変更される

議案第12号

毛呂山町デイサービスセンター条例の一部を改正する条例
(全員賛成可決)

要旨

介護予防・日常生活支援総合事業の開始に伴い、毛呂山町デイサービスセンター条例の一部を改正する必要があるため

議案第13号

毛呂山町学童保育所の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例
(全員賛成可決)

要旨

毛呂山町岩井学童保育所の移転に伴い、毛呂山町学童保育所の設置及び管理に関する条例の一部を改正する必要があるため

議案第14号

毛呂山町空き家等の適正管理に関する条例の一部を改正する条例
(全員賛成可決)

要旨

空家対策の推進に関する特別措置法の施行に伴い、所要の規定を整備するため

規約変更

議案第15号

埼玉県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の増加及び同組合の規約変更について
(全員賛成可決)

要旨

平成28年4月1日から埼玉県市町村総合事務組合に草加八潮消防組合を加入させること及び同日から皆野・長瀬上下水道組合の名称を変更することに伴い、埼玉県市町村総合事務組合規約を変更する必要があるため

専決処分

議案第1号

毛呂山町税条例等の一部を改正する条例の一部を改正する条例
(全員賛成承認)

要旨

地方税法等の改正に伴い、毛呂山町税条例等の一部を改正する必要があるため

町道の路線の廃止

(委員会付託)

- 町道第110号路線
- 町道第1699号路線
- 町道第3216号路線
- 町道第3352号路線
- 町道第3353号路線
- 町道第3763号路線
- 町道第3764号路線



西戸町民グラウンド

川のまるごと再生事業に伴い、町道として認定された道

町道の路線の認定

(委員会付託)

- 町道第3821号路線
- 町道第3963号路線
- 町道第3983号路線
- 町道第3821号路線
- 町道第3963号路線
- 町道第3983号路線
- 町道第127号路線
- 町道第128号路線
- 町道第2234号路線
- 町道第3994号路線
- 町道第3995号路線
- 町道第3996号路線
- 町道第3997号路線
- 町道第3998号路線
- 町道第3999号路線

(全員賛成可決)

● 議案の審議結果(3月定例会)

○は賛成 ×は反対 討は討論 欠は欠席 議は議長

議案	議員名														審議結果	
	下田泰章	平野隆	澤田巖	牧瀬明	弓田茂樹	佐藤秀樹	荒木かおる	千葉三津子	村田忠次郎	岡野勉	小峰明雄	高橋達夫	長瀬衛	堀江快治		
1	専決処分の承認を求めることについて(毛呂山町税条例等の一部を改正する条例の一部を改正する条例)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	承認
2	毛呂山町まち・ひと・しごと創生有識者会議条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	討	○	○	○	議	可決
3	毛呂山町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例等の一部を改正する条例	×	○	○	×	○	×	×	×	○	×	○	○	○	議	否決
4	行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整備に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
5	毛呂山町人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
6	職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例及び毛呂山町災害派遣手当等の支給に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
7	議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
8	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
9	毛呂山町職員等の旅費に関する条例及び証人等の実費弁償に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
10	企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
11	毛呂山町公民館の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
12	毛呂山町デイサービスセンター条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
13	毛呂山町学童保育所の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
14	毛呂山町空き家等の適正管理に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
15	埼玉県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の増加及び同組合の規約変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
16	平成27年度毛呂山町一般会計補正予算(第4号)	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
17	平成27年度毛呂山町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
18	平成27年度毛呂山町水道事業会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
19	平成27年度毛呂山町介護保険特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
20	平成27年度毛呂山町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
21	平成28年度毛呂山町一般会計予算	○	○	○	討	×	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
22	平成28年度毛呂山町国民健康保険特別会計予算	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
23	平成28年度毛呂山町水道事業会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
24	平成28年度毛呂山町農業集落排水事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
25	平成28年度毛呂山町介護保険特別会計予算	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
26	平成28年度毛呂山町後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
27	町道の路線の廃止について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
28	町道の路線の認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	可決
29	副町長の選任について	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	同意

議案に対する討論

『議案第2号 毛呂山町ま
ち・ひと・びと』と創生有識
者会議条例』

討論
賛成します！

岡野 勉 議員

本条例は「子育てを支援し、地方の雇用をつくる」事に目的があります。

本町の現状に照らせば、「超少子高齢化、雇用と町民所得を高める」対策は、喫緊の課題と合致します。

そこで、一つ注文したい。「話し合った、報告書を作成した」で終わっては困る。例えば、委員に「労働団体」がある。しかし、現状ではその当事者(労働団体)が選出されていない。

ぜひ若者、子育て世代、労働団体から委員を選出し、現状を打破する実効性ある対策・ビジョンの作成をお願いする。

『議案第21号 毛呂山町一般会計予算』

討論
賛成します！

澤田 徹 議員

予算案の内容に少子高齢化対策や生活道路の整備、防災施策の充実、老朽化した公共施設の改修などを計画的に実施していく姿勢が認められる内容となっており、特に防災行政無線デジタル化整備事業や毛呂山小学校体育館大規模改造事業、二期目となる毛呂山中学校大規模改造事業等といった多額の財源を必要とする事業がしっかりと位置付けられたことは高く評価します。今後も厳しい財政状況が続くことが予想されますが、井上町長を中心に全職員が一丸となり、『第5次毛呂山町総合振興計画』を基本とした着実な事業の実施を目指して頂くことを期待します。

予算決算常任委員会の主な質疑

問 災害時のメール配信サービスの内容は。

答 事前に登録した人に災害時の情報メールを配信する事業。

問 行方不明者に対しても配信対応できるのか。

答 防災情報以外にも配信可能なので検討する。

問 申し込み方法は。

答 空メールを送信していただき登録する。配信内容は避難に関する情報と被害情報など。

問 民生委員の役割が増えているが、欠員はいるか。また、要支援者への対応は。

答 現在1名欠員。28年度は一斉改選の年で、1名あたり200世帯を基準として担当している。民生委員

のアンテナ役として、社会福祉協議会で行政区ごとに福祉サポーターの立ち上げを進めている。

問 空き家の実態調査委託はどんなことをするのか。

答 町内約600軒の空き家の所有者特定と、またそ

の所有者の空き家に対する意向調査、空き家の状況調査、またその結果をデータベース化する。

問 県の発表だと空き家数が3960戸になっているが。

答 県の発表はアパート等を含む住宅・土地統計調査の数字で、600軒は戸建住宅のみの、区長による調査の数字である。

問 もろやまげんき市の計画は。

答 のぼり旗や県内市町村PR用チラシ等を作成し、駐車場や誘導員の確保を計画している。

問 渋滞対策は。

答 シャトルバスを検討する。



いっぱん質問

質問と答弁の内容を要約してお知らせします。

質問議員 と 質問事項

- | | |
|---------|---|
| 長瀬 衛議員 | ①今後の町づくり構想 |
| 佐藤 秀樹議員 | ①平成28年度事業計画
②地域活性・地域住民生活等緊急
支援交付金に対する事業報告 |
| 下田 泰章議員 | ①保育環境の充実
②旧上町保育園跡地利用
③将来の観光施策 |
| 小峰 明雄議員 | ①教育・子育て環境の充実
②障害者差別解消法
③高齢者の生きがいと健康づくり |
| 村田忠次郎議員 | ①請願中心の道路整備
②障害のある方の自活に向けた支
援施設 |
| 澤田 巖議員 | ①防災対策
②救急支援
③高齢者支援 |
| 牧瀬 明議員 | ①地方創生
②国保 |
| 荒木かおる議員 | ①毛呂山町総合振興計画
②少子化対策
③まち愛スポット
④18歳選挙権にむけた教育 |
| 千葉三津子議員 | ①旧県立毛呂山高校の今後の活用
②屋外公衆トイレの現在の状況
③障害者差別解消法の取組み
④高齢者の支援対策 |
| 岡野 勉議員 | ①2学期制「検証アンケート」
②「空き家」問題 |

※内容については、各人の原稿を質問順に掲載しています。質問順は抽選により決定されます。

あなたも議会を 傍聴してみませんか!

議会(本会議)の傍聴

町議会は、定例会、年4回(3月、6月、9月、12月)と必要がある場合に開かれる臨時会があります。

本会議は午前9時30分からはじまり、受付は、当日5階の生涯学習課窓口で傍聴申込書に住所、氏名を記入していただきます。

傍聴席は34席で、先着順に受け付けています。

委員会の傍聴

委員会の開催は、定例会の開催月により異なるため、事前に開催予定を議会ホームページ等でご確認いただくか、議会事務局にお問い合わせください。

委員会も、午前9時30分からはじまります。

受付は、当日4階の議会事務局窓口で行っています。

傍聴席は7席程度で限りがあり、先着順に受け付けます。また、傍聴席への入退場は、原則会議中はできませんのでご注意ください。

問い合わせ先

役場議会事務局(4階)

TEL 049-295-2112 内線411

毛呂山町議会傍聴規則より抜粋

(傍聴人の守るべき事項)

第8条 傍聴人は、傍聴席にあるときは、静粛を旨とし、次の事項を守らなければならない。

- ・ 議場における言論に対して拍手その他の方法により公然と可否を表明しないこと。
- ・ 談論し、放歌し、高笑い、その他騒ぎ立てないこと。
- ・ 帽子、外とう、襟巻の類を着用しないこと。ただし、病気その他の理由により議長の許可を得た場合は、この限りでない。

3万人を下回る時代を見据えた町づくりを！



長瀬 衛 議員

問 10年後の町人口は3・1万人である。将来の負担を闇雲に大きくしてはならない。川角駅周辺整備事業等は3万人を下回る時代を基準に置くべきだ。ピーク時に比べ駅利用者数は川角

駅81%、東毛呂駅93%、長瀬駅は57・6%と減少した。借金は将来の人達も負担する。野久保線事業のようでは困る。総合戦略での出生数25%増等の目標設定は数字合わせだ。10年後の町はどう変わる。

答 10年後8千人減少する。生産世代が減り、高齢者が増え、町民全体の所得は減少し、賃金

が上昇しない限り非常に厳しい時代が来る。高齢化率は35%を超え、高齢者の6割が75歳以上となる。要介護リスクの高い人や認知症が増え、介護給付費等の増大を懸念している。

問 教育環境整備は長期展望に立ち戦略的に展開し、学校配置の具体的方向性等を教育環境検討委員会が今後2年間で検討するとある。その結論が出ていないのにこの5年間、学校施設への財政投入があまりにも多い。特に、中学校大規模改造工事は気になる。

答 子ども達の為に環境をよく

していくことが大事と考えている。

問 町長としてしっかりと政策を望む。ベトナム問題はどうなったのか。当初の企業誘致で努力すべきだ。

答 商業施設追加の手続きに入っておらず、大きな動きはない。

問 高齢化で地域が苦勞している。もつと地域のことを知るべきだ。地域力を高める為、職員に地域を補助してほしい。

答 影響等を勘案しながら検討すべきと認識している。



将来を見据えた整備を〔川角駅南側の現状〕

平成28年度の主な事業計画は！



佐藤 秀樹 議員

平成28年度事業計画

問 長期計画を見据えた中でのこれからの柱となる施策に対する28年度の計画は何ですか。

答 雇用創出を目指した企業の推進、超高齢社会の中での介護

保険事業、立地適正化計画、公共施設等総合管理計画の策定などとなっております。

問 川角駅周辺整備に対する今年度の事業計画は。

答 川角駅周辺の雨水排水の状況について調査を行います。また周辺住民に対し、整備方針について説明を行って参ります。

問 空き家対策に対する今年度

の事業計画は。

答 空き家の実態調査事業、空き家対策協議会の設置、包括的な課題に対処してまいります。

問 現在毛呂山町に震災により避難されている方がおり、平成29年3月で応急仮設住宅の供与期間が終了となります。そこで、定住を考えている方に対して、空き家の提供等を推進する事を考えるべきと思うが如何か。

答 大変良い話であり、前向きに進めてまいります。

問 地域包括ケアシステムの構築に向けた今年度の事業計画は。

答 医療関係者の更なる参加を

お願いし、専門的見地からアドバイスを頂くことで、より適切なケアマネジメントにつなげていきたいと考えております。

問 地域活性、地域住民生活等緊急支援等交付金に対する事業報告は。

答 プレミアム商品券事業の換金率は99・85%で内、一般小売店で使用されたものが58・05%の割合その中で地元商店で使用された割合は47・53%の換金率であり、事業としては成功裏に終了致しました。

の事業計画は。

答 空き家の実態調査事業、空き家対策協議会の設置、包括的な課題に対処してまいります。

問 現在毛呂山町に震災により避難されている方がおり、平成29年3月で応急仮設住宅の供与期間が終了となります。そこで、定住を考えている方に対して、空き家の提供等を推進する事を考えるべきと思うが如何か。

答 大変良い話であり、前向きに進めてまいります。

問 地域包括ケアシステムの構築に向けた今年度の事業計画は。

答 医療関係者の更なる参加を



町の政策の柱となる第5次毛呂山町総合振興計画

旧上町保育園跡地を誰もが自由に 出入りし利用できる場所へ！



下田 泰章 議員

利用者誰もが自由に出入りし、手軽に手軽に利用出来る事が「利用しやすい広場」と私は思いますが、町のお考えは。

問 27年3月議会で町は「利用しやすい広場として活用したい」との答弁でしたが、現在利用するには、町へ使用許可申請書を提出しなければ利用出来ないのが現状です。一定の規定の中で

答 公園として整備するには地盤の整備やフェンスの改修工事が必要。また地区の公園となれば地域の皆さんにも除草や清掃をお願いする事にもなります。町としても市街化区域内のま

まった土地なので、将来的に財産処分の可能性も考慮しながら、有効な利用方法を検討し、安全や景観にも考慮し適切な管理を行ってまいりたいと考えている。

問 将来的に財産処分の可能性がある土地で地区の行事などで利用したくても、いつか売却されてしまうという不安が募る。地域で年間行事計画を立て、町に使用申請をすれば継続的に地域で年間利用する事は可能か。

答 年間を通して計画が公共的に明確であれば、一定の条件の中で利用することは可能である。

問 防災マップを見ても南西地

区には総合公園体育館、中央地区には前久保中央公園、東部地区には大類グラウンドと各地に防災拠点となる場所があるが、北西地区には無い。山根荘も土砂災害特別区域付近にある為、指定避難所から外れました。北西地区の防災拠点として旧上町保育園跡地を防災公園として整備するお考えは。

答 町の防災計画の見直しや当該財産の処理方法が未定の為、公的需要など総合的に考え判断しなければならぬ。



地域の有効活用のために整備を！

高齢者の生きがいと健康づくり



小峰 明雄 議員

した。教育環境の整備が図られた。課題として、児童・生徒の学力を、さらに向上させること。

問 平成27年度の教育費の内、小学校費・中学校費の予算執行等のご所見は。

問 毛呂山町教育振興計画が、今年度末で終了、成果・課題は

答 学力向上「毛呂山プラン」の推進として、県の研究委嘱を受け、研究した。読書活動推進計画を策定し、読書活動を奨励

答 各小学校への空調設備設置工事が完了。毛呂山中学校の大规模改造1期工事が終了。児童・生徒に確かな学力の定着と豊

かな心、健やかな体の育成を目指して学校教育の充実を図った。

問 環境教育・環境学習への取り組み、課題等は。

答 持続可能な社会の実現のため、身近な地域から地球規模に至るまで、環境を守ろうとする心と態度の育成を目指している。

問 若い世代の定住促進。平成27年度の少子化対策・子育て支援対策等のご所見は。

答 学童保育所の整備では、毛呂山小学校の余裕教室を活用した改修を実施。児童手当・こども医療費支給事業を実施。妊婦健康診査、育児学級等を実施。

問 前久保中央公園の既存ベンチ1基を更新する予定

答 環境教育・環境学習への取り組み、課題等は。

問 障害者差別解消法が、本年4月に施行、対応は。

答 差別解消に向け啓発活動への取り組みをしている。

問 平成27年度の介護予防事業への取り組みと成果は。

答 歯つらつ教室を開催。ゆずっこ元気体操の普及に取り組み。課題は、介護予防サポーターさんの発掘・養成等に苦慮している。

問 公園への健康遊具は。

答 前久保中央公園の既存ベンチ1基を更新する予定



「ゆずっこ元気体操」の普及を！

道路改修整備

障害者就労支援について



村田 忠次郎 議員

要望中心の道路整備について

問 平成26年度の道路整備事業は何件か。そのうち行政主体の道路整備は何件か。

答 11件の道路整備事業のうち、行政主体は1件であった。

問 行政主体の道路整備でない

と町全体の広域的なバランス良い整備ができていくと思うが。

答 計画に基づき緊急性を見ながら進めている。

問 道路改修・整備の予算について

答 町の総合振興計画・実施計画によれば28年度1億5580万円、29年度1億2190万円、30年度1億2190万円

問 運営上の課題は何か。

答 障害の特性が様々であり、参加できる時間帯に柔軟性が求められる。運営経費の確保が難しい。

問 運営経費はマイナスでも当然、目的に対して有効であれば支援を行うべきであると思うが、いかがか。

答 利益を求めないが、運営にお金がかかる。喫茶ゆずは親の熱い思いに支えられて運営されてきた。

問 中央公民館の自立支援施設喫茶ゆずと同様の施設を東公民館内又は近隣につくれないか。

答 喫茶ゆずは知的障害のある方のため様々な目的をもっているが、運営上の課題もある。

問 全国的に様々な取り組みがされている災害時協力井戸は町内どのくらいあるのか。

答 町所有が2箇所、個人宅に10箇所が登録されている。

問 本町に大災害が発生した場合、飲料水はどうするのか。

答 6000本の備蓄がある。

問 災害対策で重要なことは備えたとしても完全には発揮することは難しいだろうと認識しておくことが必要だと考える。その観点に立てば一つでも多くの協力井戸を募集すべきではないか。

答 今後は災害時協力井戸の登録を町内全域に募集を検討する。

高齢者の抛り所場所づくり、認知症カフェやお喋りカフェの設置を！



澤田 巖 議員

高齢者の抛り所場所の設置

問 日本は超高齢化社会に突入している。今後増えると予想される認知症への偏見や認知症を理解する地域づくりが求められる。認知症サポーターが必要に

なっていくと思うが。

問 本町では認知症サポーター養成実績が1115人ある。今後も養成講座は継続していく。認知症サポーター小学生養成講座も考えている。

問 認知症の方やそのご家族、地域住民の方にとって気軽に立ち寄れる様々な相談が出来る抛り所を町内に設置してはどうか。

問 昨年7月から毎月第3木曜日に中央公民館の喫茶ゆずで各種相談に対応している。川角中学校区に1箇所の開催を考えている。

答 地域には一人暮らしの方や閉じこもりがちの方も多し。何でも税金という訳にはいかな。空き家を持つている方の協力も得て町民の方が気軽に立ち寄れる『お喋りカフェ』等を設置してはどうか。

問 健康にはお喋りがとても良いと聞く、今後様々な方が集える場の創出に努めていく。

答 災害時協力井戸の必要性

問 全国的に様々な取り組みがされている災害時協力井戸は町内どのくらいあるのか。

答 町所有が2箇所、個人宅に10箇所が登録されている。

問 本町に大災害が発生した場合、飲料水はどうするのか。

答 6000本の備蓄がある。

問 災害対策で重要なことは備えたとしても完全には発揮することは難しいだろうと認識しておくことが必要だと考える。その観点に立てば一つでも多くの協力井戸を募集すべきではないか。

答 今後は災害時協力井戸の登録を町内全域に募集を検討する。



オレンジカフェ(認知症カフェ)の設置を！



整備が待たれる狭い生活道路

国民健康保険について



牧瀬 明 議員

問 平成27年の法定軽減対象額は、(下の表)

答 夫婦と子ども2人の4人家族の場合、2割軽減となる対象所得額は、221万円以下とな

っています。国保加入者1万1647人の約半数の5726人が生活保護基準以下で生活していることとなります。所得221万円以上でも、国保税を支払うと、生活保護基準(夫45歳、妻38歳、小中各1人で270万円)以下で生活することになる人もかなりいると思われま

が、町民のふところを温めない、と、地方活性化にならない。そのためにも、国保支援6300万円を使って、均等割を軽減したらどうか。

答 均等割3万5千円と所得割の二方式で、法定外繰り入れ一千万円を繰り入れて理になつた国保運営をしてきています。

問 地方創生として、町への国からの交付額とその事業は。

答 地方創生先行型での交付額は4448万円。交付対象事業は、総合振興計画策定調査、地域等が実施するイベントへの助成、観光振興、学校読書推進、

学校IT授業推進、保育園屋外活動等充実などの事業。地域活性化、地域住民生活等緊急支援助交付金の先行型タイプIへの交付額は767万円、対象事業は、桂木ゆずブランド化事業であり、桂木ゆずのPR電車広告、PRリーフレットの作成および農産物加工研修センターの修繕等を実施。

問 地域消費喚起生活支援(商品券)として、6088万円の交付額でした。(どの事業も単年度交付)

H27年法定軽減対象所得額 (4人家族の場合)

軽減割合	対象所得額	加入者数
2 割	221万円以下	1,639人
5 割	137万円以下	1,628人
7 割	33万円以下	2,459人

(国保加入者数 11,647人) 5,726人

厚生労働省の定める基準による

中立性を確保する学校教育



荒木 かおる 議員

問 今年の参議院議員選挙より年齢満18歳以上の者が選挙に参加することができることになり今後、学校での教育、啓発が重要となります。昨年9月に春日部市の中学校で教諭が政党機関

誌「赤旗」のコピーを生徒に配布した事実が発覚し、県教育委員会が県内各市町村教委に対し、教員の政治的中立性を確保するよう求める通知を出し、不適切な事案について報告を求めています。本町ではこのようなことがないか伺います。

適切な教育活動についての報告はございません。

問 コピーには「戦争法」という文字が書かれています。そもそも「戦争法案」などという法案は存在しません。毛呂山町での教育での中立性を確保するための取り組みについて伺います。

答 毛呂山町ではこのような事

例はありませんが教育の政治的中立性の確保は学校教育の根幹をなすものである。全体の奉仕者である教員の中立的立場を堅持しての教育指導の在り方や、義務教育段階からの主権者教育の在り方について改めて教職員に周知して参りたい。

問 2月に発生した小田谷地内の漏水事故の原因は。

答 経年劣化による破損であると考えられる。

問 全国的に水道事業を取り巻く環境は収入減少、施設の老朽化対策で厳しいが今後の更新事業の展開はどうお考えか。

答 将来に向かって大変厳しい状況であると認識している。健全な財政状態を保つためには水道料金の値上げも視野に入れ検討せざるを得ない。

公立中で赤旗配布

埼玉 県、指導実態調査へ 教諭号外閲覧呼びかけ

さいたま総局 7330-0033
さいたま南署 7330-0033
さいたま北署 7330-0033
さいたま東署 7330-0033
さいたま西署 7330-0033
さいたま南西署 7330-0033
さいたま北西署 7330-0033
さいたま南東署 7330-0033
さいたま北東署 7330-0033
さいたま南南西署 7330-0033
さいたま北南西署 7330-0033
さいたま南南東署 7330-0033
さいたま北南東署 7330-0033

平成27年12月16日付産経新聞より

利用者の立場に立つたきれいな 利用しやすいトイレづくりを！



千葉 三津子 議員

旧毛呂山高校の今後の活用

問 鶴ヶ島高校と統廃合され8年が経過したが、旧毛呂山高校の今後の活用は如何か。

答 現在県の教育部が管理している。本町としても地域活性化

のために有効に活用したいが厳しい財源状況の中、町単独で活用するのではなく、近隣市町と連携し活用出来るよう検討する。

問 旧毛呂山高校は災害時の避難所になっていると思うが機能は大丈夫か。

答 建物の老朽化が進んでいるためグラウンドのみ地域の一時避難場所として考えている。

屋外公衆トイレの現在の状況

問 町内の屋外公衆トイレ21ヶ所の視察をした。管財課所管のめじろ公園の女子トイレが故障していたが対応は如何か。

答 何度か修理を試みたが、完全に直らないので使用禁止にしている。今後は配水管の布設替えなど修繕を考えている。

問 スポーツ振興課の所管する24時間使用可能な岩井グラウンドトイレの落書きやペーパーホルダーの破損等は把握をしているか。

答 連絡ミスが今後起こらないように報告・連絡の徹底を図る。

問 産業振興課所管の屋外公衆トイレについて伺う。

アンケートを基に平成24年に作成された計画がある。

そこには観光客が移動しやすく気持ち良く過ごして頂くための標識・使用可能なトイレの整備が課題とあるが課題は払拭したのか。

答 毛呂山町を訪れる方が快適に過ごせるように長期的な計画の中で検討する。

要望 東京オリンピックの開催に伴い外国人客の集客も視野に入れ先を見据えた整備計画を願う。

保護者の75%が3学期制を希望。 早急に戻すべき！



岡野 勉 議員

問 2学期制「検証アンケート」について「保護者の皆さまには大変誠実に前向きなご意見を頂きました」と言われる。そこでアンケート結果は特徴的な保護者の意見も入れて、保護者全員

におよび議員にも配布を願いたい。
答 アンケートの結果は本日付で3月11日までには保護者全員、町のホームページに掲載、議員各位には本日お渡しする。

問 設問には2学期、3学期制で通知表回数のあり方をズバリ聞いている。保護者の評価はどうでしたか。特徴的な意見も含めお聞かせ下さい。

答 2学期制に肯定的な評価は、小学校で34%、中学校で25%であり、3学期制に肯定的な評価は、小学校で66%、中学校75%でした。

意見としては「評価は3回あった方が良い気もしますが、2学期制の良い面を伸ばして続けて頂ければと思います。」3学期制に肯定的な意見では「通知表をもらって学期を終えられた方が、節目もよく、親子で学力について話す機会が設けられる」早く3学期制に戻して下さい。中学校では定期テストの範囲が広く、通知表の回数が少

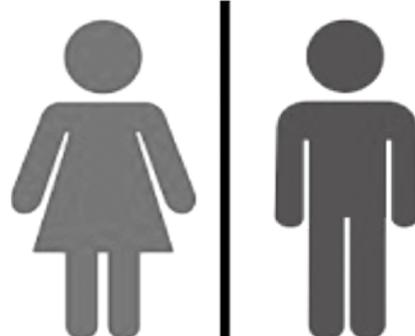
3学期制へ戻すべきです！

問 2学期制で授業時間数の確保やゆとりなど評価はするが、圧倒的に3学期制を望む声が大きい。2学期制は学校風土に馴染まない！ことがはっきりした。早急に保護者の意向(民意)を尊重し、3学期制に戻すべきと思うが、どうか。

答 2学期制を充分検証し今後

	2回 (2学期)	3回 (3学期)
小学校	34%	66%
中学校	25% (149人)	75% (440人)

保護者の75%が3学期制を希望！
(アンケート結果＝通知表の回数)



屋外公衆トイレの点検・整備の強化を！

人事

副町長(新任)

藤田 努 氏



川越市在住
昭和42年生

表彰

○全国町村議会議長会特別表彰

堀江 快治 議員

○毛呂山町特別有功表彰

小峰 明雄 議員
在職20年以上

全員協議会

【3月1日】

○執行部協議事項

- 1 平成28年度毛呂山町一般会計予算の概要説明
- 2 毛呂山町まち・ひと・しごと創生有識者会議条例の制定について
- 3 埼玉医科大学病院等への運営費助成について
- 4 毛呂山町選挙管理委員及び同補充員の選挙について
- 5 (仮称)教育環境等検討委員会の設置について

○議会協議事項

- 6 平成28年度学校関係大規模改造工事について
- 7 毛呂山町建築物耐震改修促進計画の改定について
- 8 副町長の選任について
- 1 全国町村議長の自治功労者表彰の報告について
- 2 予算決算常任委員会の進め方について
- 3 議会申し合わせ事項について
- 4 常任委員会行政視察研修について
- 5 議会だより一般質問のレイアウト及び議員写真

議会の動き

- 2月 4日 坂戸地区衛生組合議会定例会
9日 広域静苑組合議会定例会
12日 入間郡町村議会議長会
16日 埼玉西部環境保全組合議会定例会
17日 西入間広域消防組合議会定例会
22日 毛呂山・越生・鳩山公共下水道組合議会定例会
23日 議会運営委員会
26日 埼玉県町村議会議長会総会
- 3月 1日 } 第1回(3月)議会定例会
~22日 }
1日 全員協議会
2日 議会運営委員会
7日 議会運営委員会
9日 }
14日 } 予算決算常任委員会
16日 }
17日 }
18日 }
11日 総務文教常任委員会
生活福祉常任委員会
28日 }
4月 7日 } 議会だより編集委員会
14日 }
5月 1日 議会だより発行

次回定例会は6月です。

3月定例会傍聴者数

本会議日	傍聴者数(人)
3月 1日(火)	1
3月 2日(水)	24
3月 3日(木)	12
3月 7日(月)	10
3月 8日(火)	1
3月22日(火)	1

傍聴席

- 6 一部事務組合の定例会及び代表者会議の報告について
- 異動 総務課付
秋葉 幹史
- 新任 議会事務局長
小峰 裕次
- 定年退職
横田 光明
- 新任 副局長
波田 裕一
- 4月1日現在

議会事務局人事

編集委員

- 委員長 弓田 茂樹
副委員長 荒木かおる
委員 下田 泰章
平野 隆
澤田 巖
牧瀬 明
アドバイザー
(議長) 堀江 快治

あとがき

青葉若葉が目にしみる季節になってきました。新年度に入り、私たち議員も町民の皆さんの力とされるべく、青葉若葉に負けぬよう奔走する日々です。

先日あるご婦人に、今まで目を通さなかった議会だよりを読むようになったとお聞きし、議員としての責任と使命感を新たにしました。何気ない一言だったのかもしれませんが、新緑の如く心にしみた出来事です。

(平野 隆)